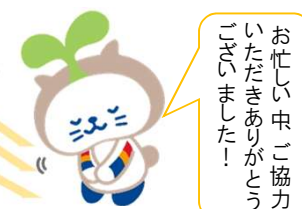


# 静岡県立大学学生 SDGsインタビュー 2023

【インタビュー実施日】  
令和5年12月7日(木)12:00~15:00  
【実施場所】丸徳商事有限会社  
【ご担当者】大上 弘奈様



## 01 調査方法

企業へ伺わせていただき、社長の松崎様、広報担当の大上様から直接お話を伺いました。



## インタビュー先企業様 丸徳商事有限会社



## 03 R FARMプロジェクトについて

### ●R FARMプロジェクトとは？

地元の耕作放棄地を企業で製造した肥料を利用し活用できる畑に転換していくプロジェクトのことです。地元の耕作放棄地をどうにかしたい！といった地元貢献の意欲から発展しました。



### ●現在は...

オリジナルの肥料を活用しつつ、ホップと大生姜の栽培を行っています。さらに収穫した作物からジンジャービールなどの商品開発にも取り組み、現在は生姜のジェラートを作っているそうです。ホップと大生姜の栽培に至るまでには、ライムやオクラなどの様々な作物の栽培を実践してきました。



## 06 SNS活動について

InstagramなどのSNSも丸徳商事さんでは積極的に活用し発信しています。外部の学生だけでなく、社員の方に自分たちの仕事を知ってもらい働き甲斐を持ってもらうために企業の情報を発信しているそうです。



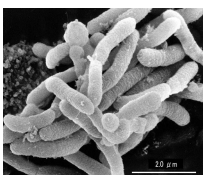
## 02 丸徳商事有限会社について

産業廃棄物処理を本業とする企業ですが、「他のひがやっていないことをやろう」をモットーにしており、周囲との差別化を図っています。他社にはない丸徳商事さんの特徴は主に3つあります。



### ①乾溜ガス化燃焼炉

廃棄物を熱分解させガス化することにより、燃料として位置づけた燃焼のイメージを一新したシステムです。



②良い環境  
植林してあり、周囲に溶け込むようになっています。多くの工場は臭いや煙などの対策で壁を作ることが多いですが、塀を作らない工夫を施し、施設感をなくしています。

### ③Y M菌\*

他者はパークチップ等を入れて水分量を調節しますが、Y M菌\*を用いると余分なものを入れずに済みます。不要なものや製造期間が減り、結果として環境への負担を減らすことになっていました。

## 05 地域とのつながり

地元の人と一緒にR FARMプロジェクトの畑作業を行ったり、地域のお祭りに参加したり、様々な取り組みをしています。地域の方々とのつながりは全国の同業者の中で一番の自信があるそうです。



## 04 丸徳商事のSDGs活動

### ●働く場所や働きがいの提供

B型就労支援所の人たちに生姜の洗浄やカットなどの複雑でない仕事を提供し、やりがいのある職場の提供に貢献しています。

### ●朝の駅前清掃に積極的に参加

10年以上前から開始し、清掃を継続することによりごみの減少に繋がりました。

### ●セブンとの連携によるボトルの回収出荷

セブンイレブンに設置されている回収BOXのペットボトルを回収し、ボトルからボトルへとリサイクルを行っています。

### ●放任竹林整備の手伝い

放任竹林の買取を行い、肥料を作る際の竹のチップとして使用しています。

### ●有機肥料利用

現在、土に良いとされている有機肥料を使用し、土の豊かさにも貢献しています。

### ●産業廃棄物より製造した肥料の活用

活用方法として、R FARMプロジェクトや宋原地区の皆様とブルーベリー農園を行っています。

### ●他社との連携による目標達成

R FARMプロジェクトにおいて製品を作る際は他社と連携を取っています。

## 07 インタビューを行った感想

今回のインタビューでは、非常に興味深いお話が聞くことができました。丸徳商事さんは他がやっていないことをやろうというチャレンジ精神に長けておりお話を伺ってとても刺激を受けました。生姜のジェラートも非常に美味しくいただきました。企業のみなさま、お忙しい中ありがとうございました。

